



Better Health, Brighter Future

会社名 武田薬品工業株式会社
代表者 代表取締役社長 CEO クリストフ・ウェバー
(コード番号 4502 東証第1部)
報道関係問合せ先 コーポレート・コミュニケーション
多田 毅 03-3278-2417
Email: tsuyoshi.tada@takeda.com

News Release

2017年1月9日

武田薬品による ARIAD 社の買収について
－武田薬品はグローバルなオンコロジー(がん)ポートフォリオをさらに拡大－
－2018 年度の実質的なコア・アーニングスの向上に貢献－
－がん患者さんに治療薬をお届けする武田薬品の取り組みを強化－

- 本買収は武田薬品の戦略に合致するものであり、固形がん分野への拡大と血液がん分野のさらなる強化により、グローバルなオンコロジーのポートフォリオおよびパイプラインを変革
- 実質的なコア・アーニングスの向上に 2018 年度までに貢献、売上収益は即時および長期に伸長
- Iclusig[®] (一般名: ponatinib) および brigatinib の 2 つの極めて革新的な薬剤と早期ステージのパイプライン、コストシナジーがバリュードライバー
 - Iclusig はグローバルに上市済み、持続的で力強い売上伸長に期待
 - brigatinib は 2017 年前半に米国にて承認見込み、ベスト・イン・クラスの ALK 阻害薬となる可能性があり、ピーク売上見通しは 10 億米ドル以上
 - ARIAD 社の研究開発能力ならびに基盤技術を活用
- 武田薬品は財務の柔軟性を保持、配当方針に影響なし

武田薬品工業株式会社(本社:大阪府中央区、以下「武田薬品」)と ARIAD Pharmaceuticals, Inc. (本社:マサチューセッツ州ケンブリッジ、以下「ARIAD 社」)は、本日 2017 年 1 月 9 日(米国時間 1 月 8 日)、武田薬品が ARIAD 社の発行済株式のすべてを 1 株当たり 24.00 米ドル(企業価値では総額約 52 億米ドル)で、現金により取得し、ARIAD 社を買収することについて合意しましたのでお知らせします。本買収は両社の取締役会にて承認されており(武田薬品の取締役会承認は 1 月 6 日、ARIAD 社は米国時間 1 月 8 日)、競争法上のクリアランス等の手続きを経た後、2017 年 2 月末までに完了する予定です。ARIAD 社の普通株式の 6.6%を保有する Sarissa Capital ならびに ARIAD 社の各取締役は、武田薬品の子会社が実施する公開買付けに対し、保有する株式を応募することに同意しています。

武田薬品の代表取締役社長 CEO であるクリストフ・ウェバーは、「ARIAD 社の買収は、当社が世界中の患者さんのよりよい人生に貢献し、重点を置く戦略を推進する絶好の機会であるとともに、株主の皆様にもメリットをもたらすものです。本買収は当社にとっても素晴らしい機会であり、2 つの革新的でターゲットを絞った薬剤の獲得により、当社の血液がん分野のポートフォリオはさらに拡大し、グローバルな固形がんのフランチャイズが変革することになります。このように極めて高品質で補完的なポートフォリオを獲得できる機会は多くあるものではなく、本買収は患者さんをはじめ、株主の皆様や当社ステークホルダーの方々にメリットをもたらすものと大いに期待しています」と述べています。

ARIAD 社の社長 CEO である Paris Panayiotopoulos は、「当社は、武田薬品の一員となることを大変嬉しく思います。これにより、当社のミッションである希少がんの患者さんに対する治療薬を創製・開発し、お届けすることを加速できるのみならず、当社の株主の皆様にも、ただちに大きな金銭的価値をもたらします。このたびの合意に至ったのは、高い能力を有する当社従業員のたゆまぬ努力の結果です。当社は武田薬品に大きな敬意を払っており、当社と共通のイノベーション創出への熱意と研究を重視する文化によって、今回の合意による移管も円滑に進められるものと確信しています」と述べています。

ARIAD 社の会長である Alexander J. Denner は、「このたびの合意は ARIAD 社ならびに武田薬品の株主の皆様にとって素晴らしい結果をもたらします。両社はともにがん患者さんを救うことに情熱を注いでおり、武田薬品の人材や資産が ARIAD 社のパイプラインや従業員と結びつくことで、がん治療薬の開発が加速するものと確信しています。当社マネジメント・チームや従業員の皆さんのたゆまぬ努力に心から感謝しています」と述べています。

1. 本買収実施の理由

【本買収は武田薬品の戦略に合致するものであり、固形がん分野への拡大と血液がん分野のさらなる強化により、グローバルなオンコロジーのポートフォリオおよびパイプラインを変革】

ARIAD 社の買収により、武田薬品は、オンコロジーポートフォリオを拡充する、ターゲットを絞った 2 つの革新的な治療薬を獲得することになります。臨床試験段階の薬剤である brigatinib は、遺伝的要因を有する非小細胞肺癌患者さんに対してグローバルに使用される、画期的な治療薬になり得るものと考えています。また、慢性骨髄性白血病および特定の急性リンパ性白血病を対象とする治療薬である Iclusig の獲得により、武田薬品の血液がん分野の強固なフランチャイズが拡大します。これら 2 つのターゲットを絞った革新的な治療薬により、武田薬品は、オンコロジー領域において持続的にさらなる成長を遂げることが可能になります。武田薬品のオンコロジー領域での新製品 (ADCETRIS® (一般名: ブレンツキシマブ ベドチン)、NINLARO™ (一般名: イキサゾミブ)、VELCADE® (一般名: ボルテゾミブ)) 上市の成功実績は、当社が brigatinib の発売を成功させ、brigatinib を世界中の患者さんにお届けし、市場シェアを獲得するために必要な経験や専門性を有していることを示しています。

【実質的なコア・アーニングスの向上に 2018 年度までに貢献、売上収益は即時および長期に伸長】

ARIAD 社の買収は、武田薬品の株主の皆様にとって極めて魅力的なものです。本買収は、直ちに武田薬品の売上収益に貢献し、長期的な売上収益の伸長と経費削減のシナジーをもたらします。Iclusig の 2016 年(1-12 月)の売上ガイダンスは 170-180 百万米ドルであり、2 つの治療薬により長期的な増収効果を期待しています。また、本買収は 2018 年度までに実質的なコア・アーニングスの向上に貢献する見込みであり、2017 年度への影響はほぼ中立と考えています。brigatinib の発売に伴う販売・マーケティング費用の増加は、力強い売上収益の伸長と経費削減のシナジーにより相殺されるものと見込んでいます。

【Iclusig および brigatinib の 2 つの極めて革新的な薬剤と早期ステージのパイプライン、コストシナジーがバリュードライバー】

Iclusig は上市済みであり、力強い売上伸長の持続が見込まれていることから、直ちに武田薬品の売上収益に貢献します。臨床試験段階の薬剤である brigatinib は年間 10 億米ドルを超える売上を達成できるポテンシャルを有しており、売上収益に長期的に貢献します。brigatinib は 2017 年の前半に米国にて承認される見込みであり、引き続きグローバルで承認申請を行います。Iclusig や brigatinib のみならず、ARIAD 社が有する標的キナーゼに関する専門技術は臨床応用に通じるトランスレーショナル・サイエンスと結びついており、さらなる長期的な貢献をもたらすパイプラインを生み出す可能性も期待できます。武田薬品は、ARIAD 社の研究開発能力や基盤技術を活用し、研究開発費は武田薬品の現行の予算内に収めます。一般管理費については、2018 年度までにシナジー効果を楽しむものと考えています。

【武田薬品は財務の柔軟性を保持、配当方針に影響なし】

本買収に要する資金には、最大 40 億米ドルの新規負債による資金と手元資金を充当する予定です。2017 年のネット負債/EBITDA 倍率は約 2.6 倍となり、投資適格の格付け水準を維持できるものと見込んでいます。本買収による武田薬品の配当方針に影響はありません。

2. 本買収の概要

本買収は、武田薬品の 100%子会社である武田ファーマシューティカルズUSA Inc.が本件買収用に設立した Kiku Merger Co., Inc.による ARIAD 社のすべての発行済株式の現金による公開買付け、および、その後の同社の ARIAD 社との合併を通じて実行されます。これにより、ARIAD 社は、武田薬品の間接所有の 100%子会社となります。公開買付けに応募されなかった ARIAD 社の株式は、公開買付けにおける買付け価格と同額の 1 株当たり 24.00 米ドルの支払いを受ける権利に転換されます。

なお、本公開買付けは、ARIAD 社の発行済株式総数の過半数の応募および米国 Hart-Scott-Rodino 反トラスト法や適用される海外の反トラスト法に基づく待機期間の満了を含む、その他の通例のクロージング条件を前提としています。本買収は、2017 年 2 月末までに完了する見込です。

(1) 公開買付け実施者	Kiku Merger Co., Inc.
(2) 公開買付けの対象会社	ARIAD Pharmaceuticals, Inc.
(3) 買付けを行う株券等の種類	普通株式
(4) 買付け価格	1 株当たり 24.00 米ドル
(5) 買付けに要する資金 (買付け合計額)	約 54 億米ドル(見込み) ※ 合計金額は、被買収会社の発行済株式総数(完全希薄化後ベース)に買付け価格を乗じて計算しています。アドバイザー費用等は含めておりません。
(6) 株式の取得方法	現金 ※ 最大 40 億米ドルの新規負債と手元資金。
(7) 買付け期間	2017 年 1 月から 2017 年 2 月 ※ 最初の買付け期間は、本件にかかる ARIAD 社との最終合意の日(米国時間 2017 年 1 月 8 日)から 10 営業日以内に開始され、開始後 20 営業日で終了します。なお、買付け条件が充足されない場合は、買付け期間の延長が実施されますが、延長期間は 2017 年 5 月(反トラスト法のクリアランスが得られなかった場合は 8 月)を越えることはありません。
(8) 下限応募株式数	応募株式数が被買収会社の発行済株式総数の過半数に達し、他の通例のクロージング条件が満たされた場合に本買付けを行います。
(9) 武田薬品の財務アドバイザー	Evercore Partners
(10) 武田薬品の法務アドバイザー	Cleary Gottlieb Steen & Hamilton LLP
(11) ARIAD 社の財務アドバイザー	J.P. Morgan Securities LLC, Goldman Sachs & Co., Lazard
(12) ARIAD 社の法務アドバイザー	Paul, Weiss, Rifkind, Wharton & Garrison LLP

3. ARIAD 社の概要

(1) 商号	ARIAD Pharmaceuticals, Inc.		
(2) 本店所在地	125 Binney Street, Cambridge, Massachusetts 02142, USA		
(3) 代表者氏名	Paris Panayiotopoulos, President and Chief Executive Officer		
(4) 事業内容	がん関連医薬品の研究開発、販売		
(5) 資本金	13 億 3,900 万米ドル(2015 年 12 月 31 日時点の資本剰余金)		
(6) 設立年月	1991 年 4 月		
(7) 大株主および 持株比率(注 1)	Wellington Management Group LLP		8.8%
	FMR LLC		7.8%
	Vanguard Group Inc.		6.8%
	その他		
(8) 当該会社との関係	資本関係	該当なし	
	人的関係	該当なし	
	取引関係	該当なし	
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態(単位:千米ドル/1 株当たり情報は米ドル)			
決算期	2013 年 12 月期	2014 年 12 月期	2015 年 12 月期
純資産	185,517	80,801	△103,141
総資産	370,894	603,116	546,692
1株当たり純資産	1.01	0.43	△0.55
売上収益	45,561	105,412	118,804
営業利益	△273,566	△160,195	△217,276
当期利益	△274,158	△162,602	△231,156
1株当たり当期損失	△1.49	△0.87	△1.23

(注1) フォーム 13F の報告書に基づいています。持株比率は、所有株式数(2016 年 9 月末)を公開買付けの対象会社の発行済株式総数で除して計算しています。

4. 買収前後の所有株式の状況

(1) 取得済み株式数	0 株 議決権所有割合:0%
(2) 取得予定株式数	194,389,661 株(発行済株式総数) 議決権所有割合:100%(予定)

5. 本買収の日程

(1) 取締役会の決議日	2017 年 1 月 6 日
(2) 契約締結日	2017 年 1 月 9 日(米国時間 1 月 8 日)
(3) 本公開買付け期間の 開始・終了年月日	2017 年 1 月から 2017 年 2 月 ※ 最初の買付け期間は、本件にかかる ARIAD 社との最終合意の日(米国時間 2017 年 1 月 8 日)から 10 営業日以内に開始され、開始後 20 営業日で終了します。なお、買付け条件が充足されない場合は、買付け期間の延長が実施されますが、延長期間は 2017 年 5 月(反トラスト法のクリアランスが得られなかった場合は 8 月)を越えることはありません。
(4) 本買収の完了予定日	2017 年 2 月末まで(予定)(注 1)

(注1) 米国の反トラスト法に基づく所定の法的手続きおよび他の通例のクロージング条件が満たされた後に完了する予定です。

6. 今後の見通し

【2016年度】

本買収が、実質的な売上収益および実質的なコア・アーニングスに与える影響は軽微となる見込みです。本買収により、統合・移管にかかる費用が発生する見込みですが、2016年度業績に重要性ある影響はありません。本買収による影響は2017年2月の第3四半期決算発表における2016年度連結業績予想に織り込んでまいります。

【2017年度以降】

本買収は、2018年度までに実質的なコア・アーニングスの向上に貢献する見込みであり、2017年度への影響はほぼ中立と考えています。brigatinibの発売に伴う販売・マーケティング費用の増加は、力強い売上収益の伸長と経費削減のシナジーにより相殺されるものと見込んでいます。EPSを含む2017年度の連結業績予想・ガイダンスは、2017年5月に予定されている2016年度末決算発表において公表する予定です。

7. 本件にかかるカンファレンスコール(電話会議)の実施について

当社では、本件にかかるカンファレンスコール(電話会議)を以下の要領で実施いたします。

日時：【日本時間】2017年1月10日(火) 9:30開始 (米国東部時間 1月9日(月) 19:30開始)

下記リンクにてライブ配信いたします(聞き取り専用)。

<http://www.takeda.co.jp/investor-information/results/2016.html>

カンファレンスコール終了後24時間以内に、音声をアップロードします。

<公開買付けに関する追加情報>

本資料に記載の公開買付けはまだ開始されていません。本資料は情報提供の目的のみで開示されるもので、いかなる証券に関する買付けの申込みや売却の勧誘を構成するものではありません。本公開買付けの開始時において、当社とその100%子会社であるKiku Merger Co., Inc.は、買付け申出、譲渡証フォーマットや公開買付けに関するその他書類を含め、米国証券取引委員会(SEC)にスケジュール TO に基づき公開買付けステートメントを申請する予定です。ARIAD社は本公開買付けに関するスケジュール 14D9 に基づく意見表明書をSECに申請する予定です。当社、Kiku Merger Co., Inc.及びARIAD社は、ARIAD社の株主の皆様へこれら書類を郵送する予定です。これら書類には本公開買付けに関する重要な情報が含まれていますので、投資家の皆様及び株主の皆様は、入手された際には、これらの申請書を注意深くお読みくださいますよう、お願いいたします。これら書類はSECのウェブサイト(www.sec.gov)にて無料で入手できる場合があります。本買付け申込み及び関連資料は、(入手可能となった際に)本公開買付けの情報エージェントにコンタクトいただくことによっても無料で入手できる場合があります。

以上